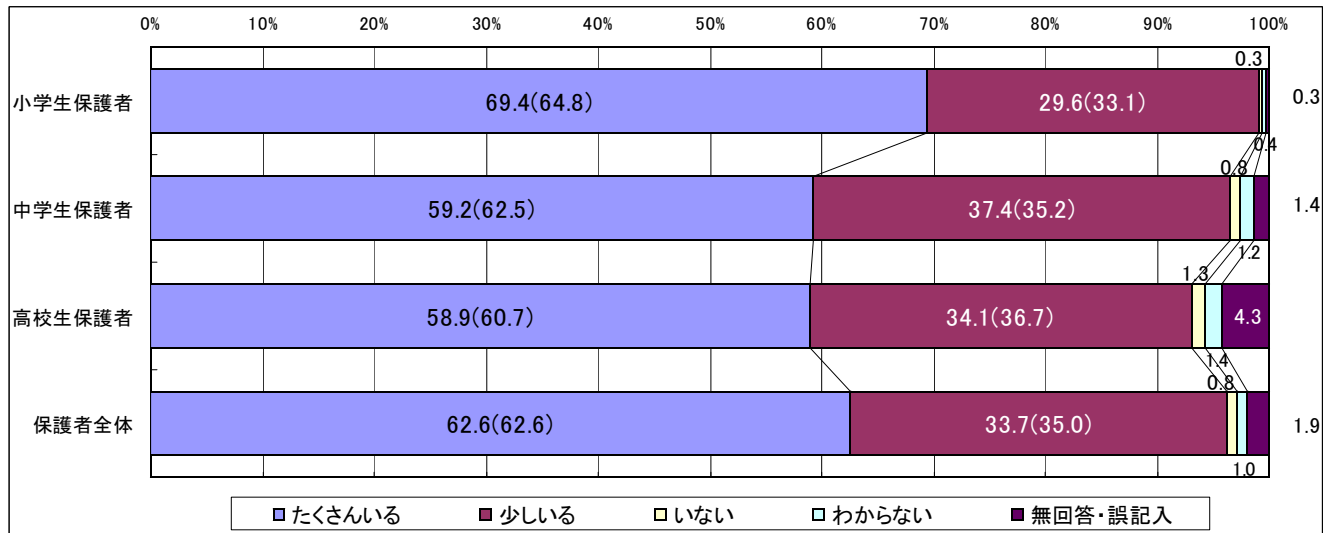


Ⅲ 人間関係に対する意識

1 友だちの有無 【保護者…問19】

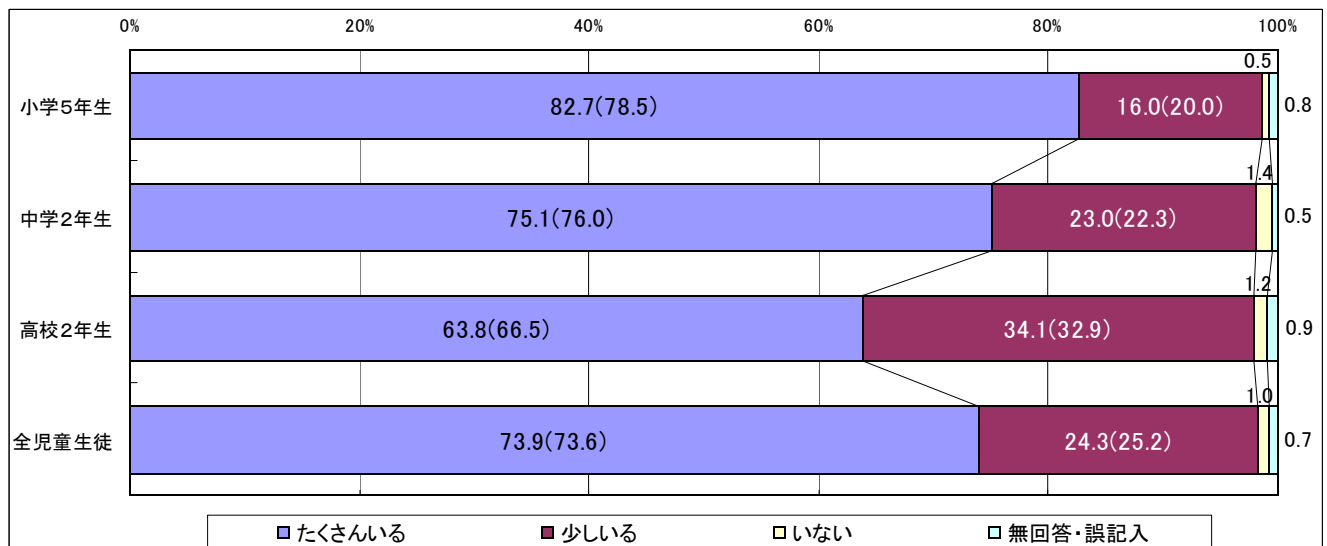
子どもさんには友だちがいますか。次の中からあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。
 (1) たくさんいる (2) 少しいる (3) いない (4) わからない



● 平成14年度と同様の傾向である。

1 友だちの有無 【小学5年生…問20】【中学2年生…問20】【高校2年生…問20】

あなたは友だちがいますか。次の中からあてはまるものを一つ選んで番号を教えてください。
 (1) たくさんいる (2) 少しいる (3) いない



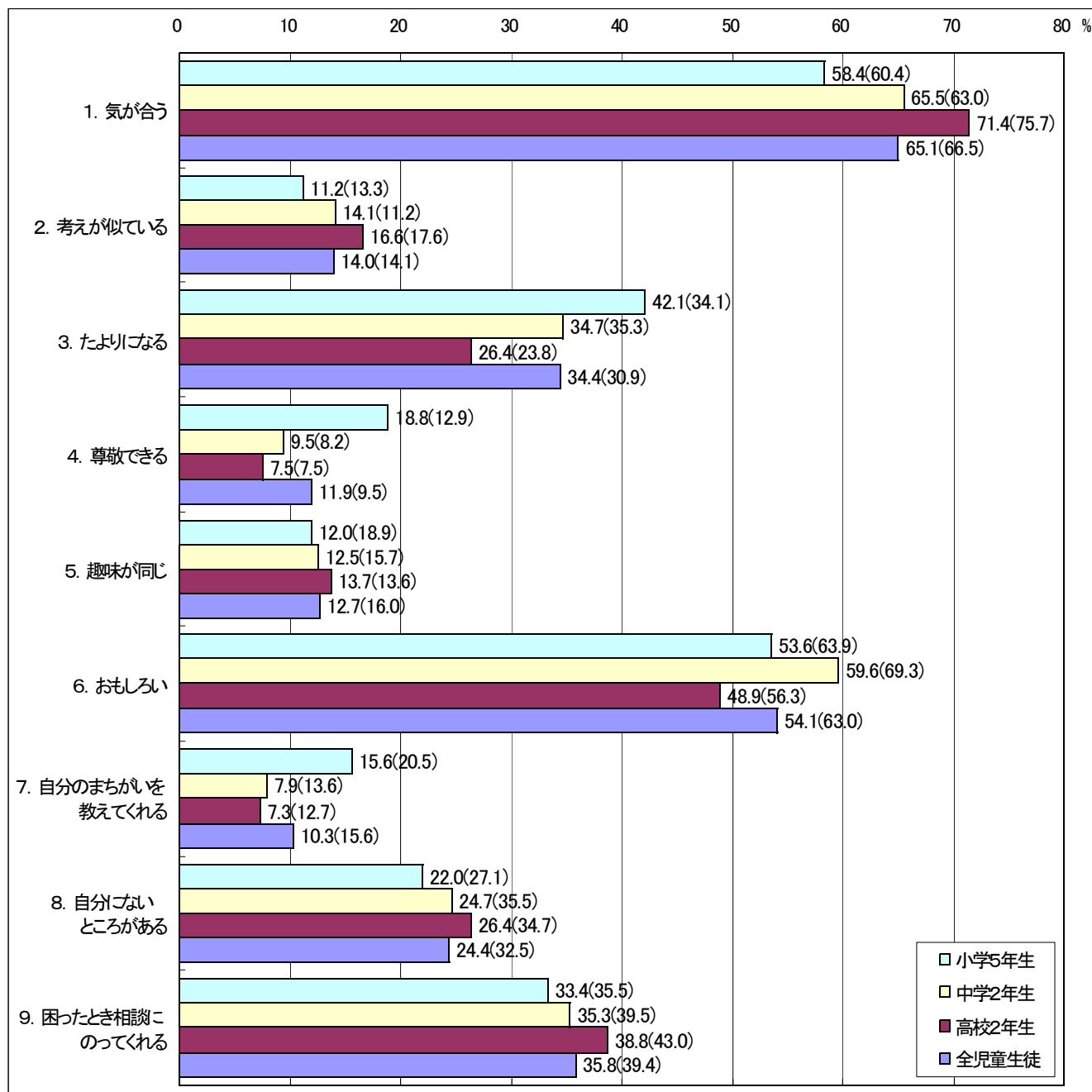
● 「たくさんいる」の回答の割合は児童生徒の方が保護者よりも高く、特に小5 13.3ポイント、中2 15.9ポイントの差があった。

● 友だちが「いる」（たくさんいる＋少しいる）と回答した児童生徒の割合は、小5 98.7%、中2 98.1%、高2 97.9%であり、平成14年度とほぼ同じである。

2 友だちはどんな人 【小学5年生…問21】【中学2年生…問21】【高校2年生…問21】

友だちが「たくさんいる」「少しいる」と答えた人に聞きます。友だちはどのような人ですか。次の中からあてはまるものを三つまで選んで番号を教えてください。

- (1) 気が合う (2) 考えが似ている (3) たよりになる (4) 尊敬できる
 (5) 趣味が同じ (6) おもしろい (7) 自分のまちがいを教えてくれる
 (8) 自分にないところがある (9) 困ったとき相談にのってくれる



- 全児童生徒の回答の割合で最も高いのは「気が合う」(65.1%)であり、次いで「おもしろい」(54.1%)「困ったとき相談にのってくれる」(35.8%)の順である。この上位3項目は平成14年度と同じである。なお、中2・高2の上位3項目は全児童生徒と同じであるが、小5では「気が合う」「おもしろい」「たよりになる」の順に回答の割合が高い。

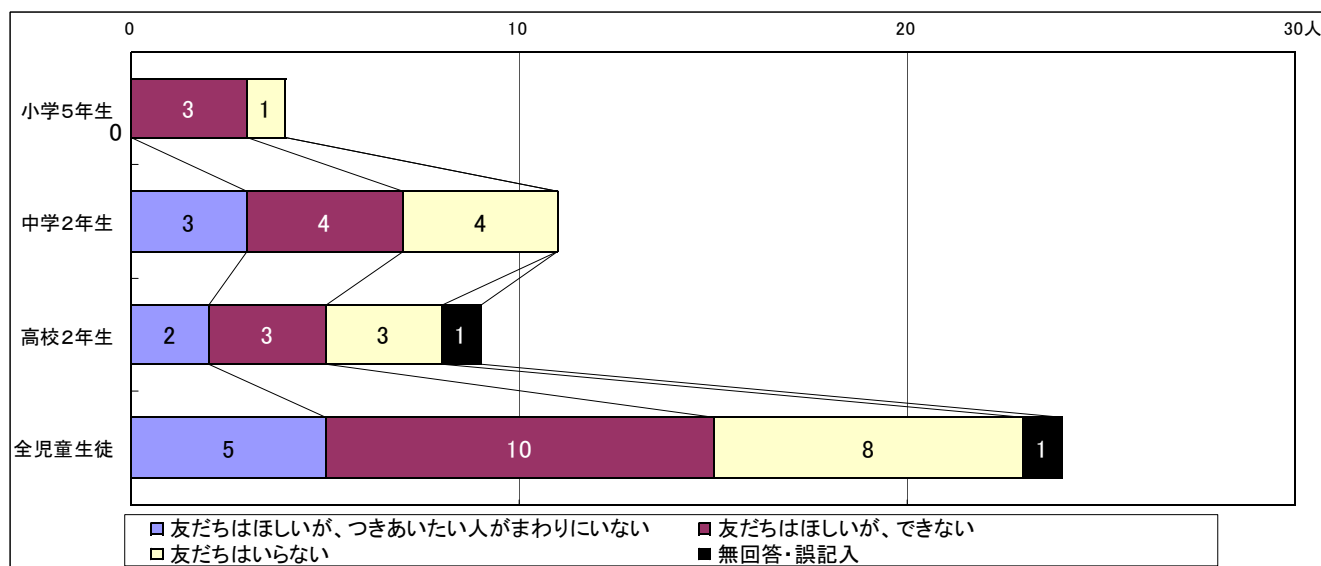
3 友だちがいない理由 【小学5年生…問22】【中学2年生…問22】【高校2年生…問22】

問20で(3)(友だちがいない)と答えた人に聞きます。次の中からあてはまるものを一つ選んで番号を答えてください。

- (1) 友だちはほしいが、つきあいたい人がまわりにいない
- (2) 友だちはほしいが、できない
- (3) 友だちはいらない

	1. 友だちはほしいが、つきあいたい人がまわりにいない	2. 友だちはほしいが、できない	3. 友だちはいらない	無回答・誤記入	合計
小学5年生	0.0(0)	75.0(3)	25.0(1)	0.0(0)	100.0(4)
中学2年生	27.3(3)	36.4(4)	36.4(4)	0.0(0)	100.0(11)
高校2年生	22.2(2)	33.3(3)	33.3(3)	11.1(1)	100.0(9)
合計	20.8(5)	41.7(10)	33.3(8)	4.2(1)	100.0(24)

整数で表した()内の数字は実数

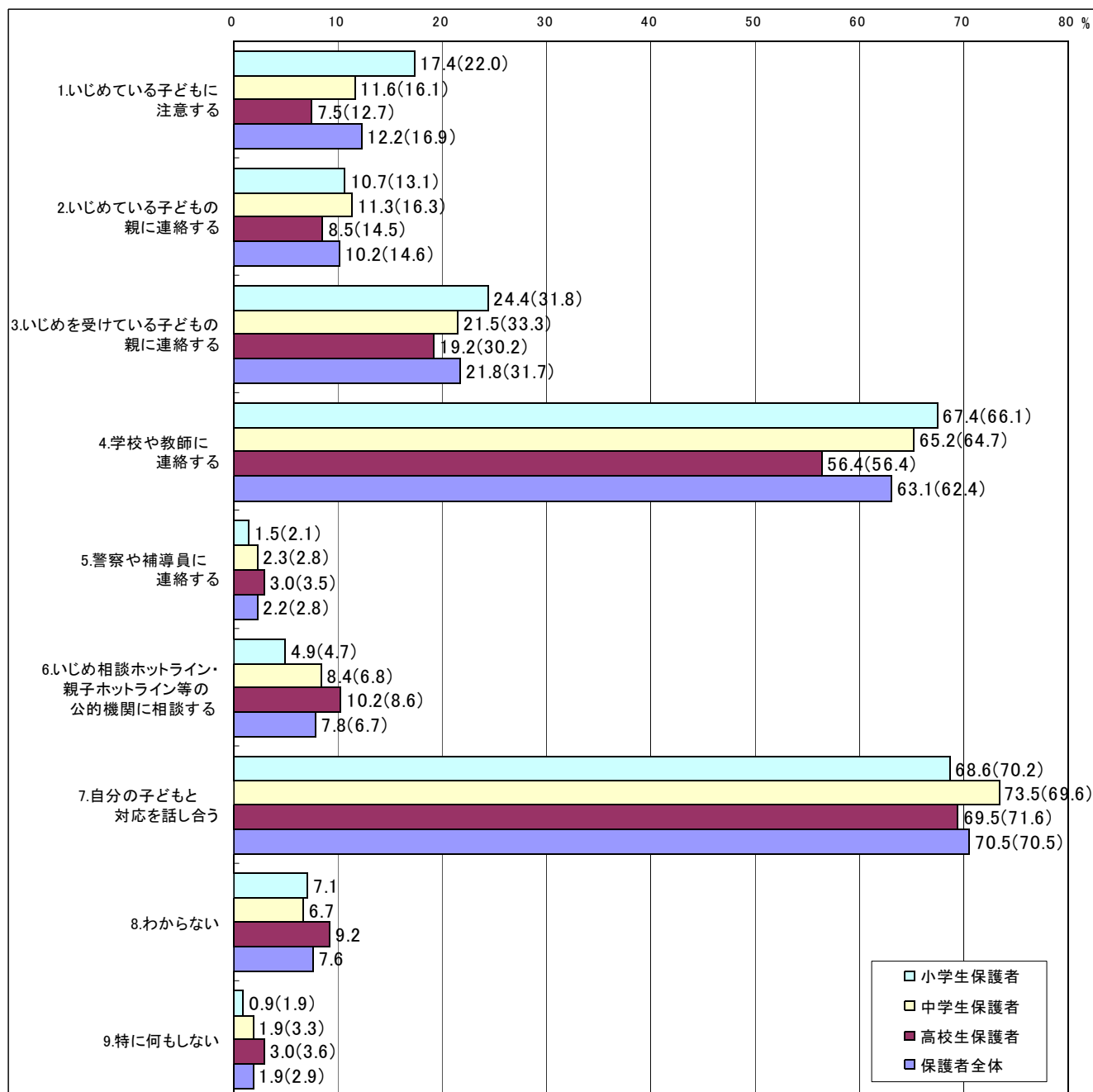


- 本設問のデータ数は少ない。回答数は小5が4人、中2が11人、高2が9人であった。そのうち、「友だちはいらない」を回答した児童生徒数は、小5が1人、中2が4人、高2が3人であった。

4 いじめに対する対応 【保護者…問16】

もしも、子どもさんの友だちがいじめられているのを知ったら、あなたはどのようにと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号を教えてください。

- (1) いじめている子どもに注意する (2) いじめている子どもの親に連絡する
 (3) いじめを受けている子どもの親に連絡する (4) 学校や教師に連絡する
 (5) 警察や補導員に連絡する
 (6) いじめ相談ホットライン・親子ホットライン等の公的機関に相談する
 (7) 自分の子どもと対応を話し合う (8) わからない
 (9) 特に何もしない



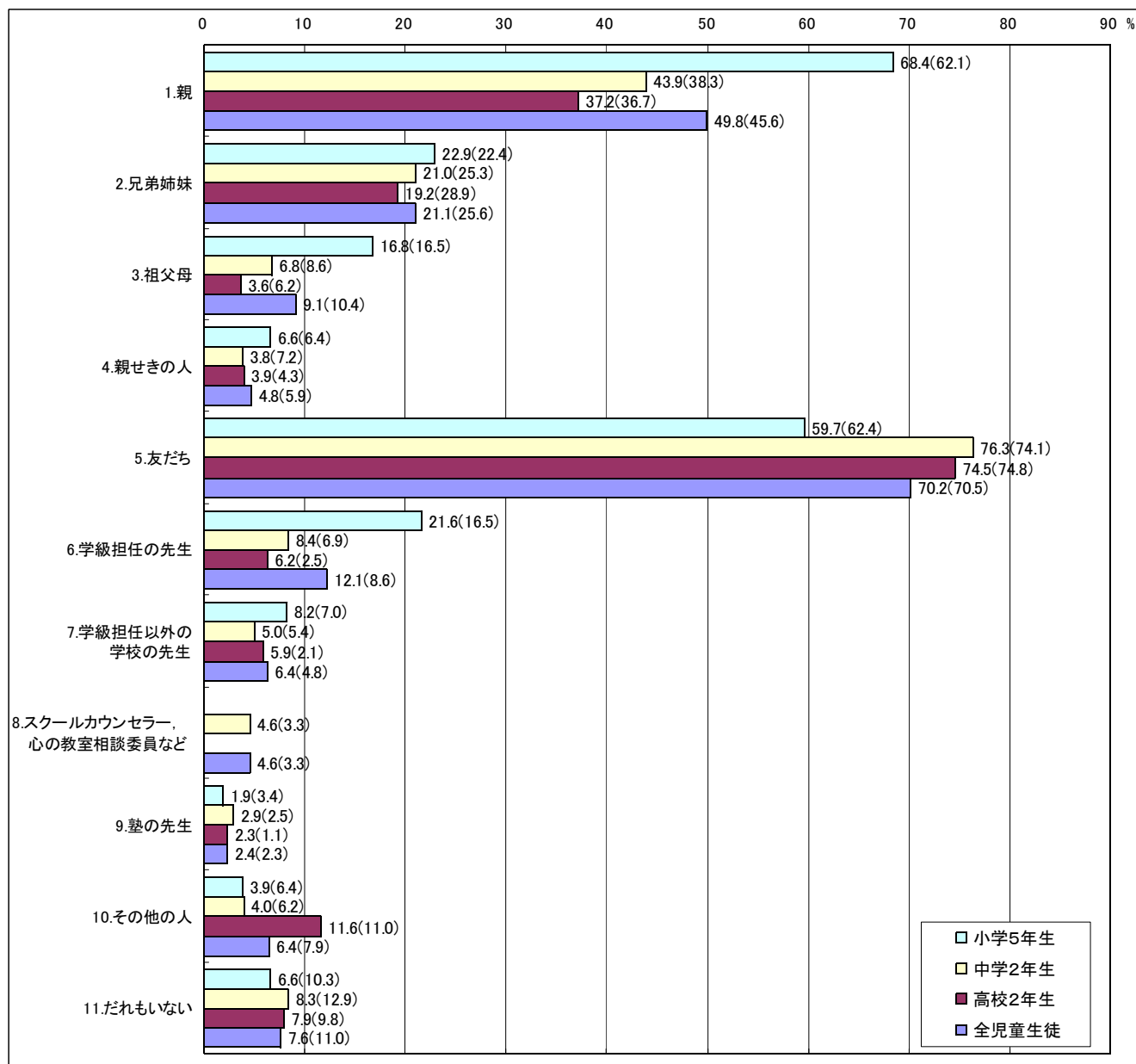
- 保護者全体で回答した割合が多い順は「自分の子どもと対応を話し合う」(70.5%)「学校や教師に連絡する」(63.1%)「いじめを受けている子どもの親に連絡する」(21.8%)であり、小・中・高の保護者間に大きな差はない。これは平成14年度と同様の傾向である。

5 何でも話せる人 【小学5年生…問28】【中学2年生…問29】【高校2年生…問30】

あなたが困ったことや悩んでいることなど何でも話せるのはだれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んで番号を教えてください。

- (1) 親 (2) 兄弟姉妹 (3) 祖父母 (4) 親せきの人 (5) 友だち
 (6) 学級担任の先生 (7) 学級担任以外の学校の先生 (8) スクールカウンセラー、心の教室相談委員など
 (9) 塾の先生 (10) その他の人 (11) だれもない

※質問項目の選択肢「スクールカウンセラー、心の教室相談委員など」は中2のみである。

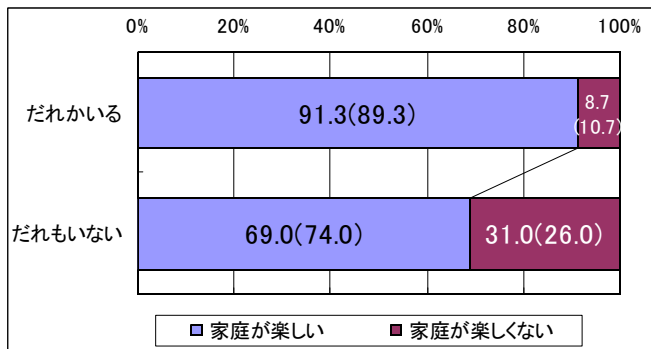


- 全校種とも「友だち」(小5 59.7%, 中2 76.3%, 高2 74.5%), 「親」(小5 68.4%, 中2 43.9%, 高2 37.2%), 「兄弟姉妹」(小5 22.9%, 中2 21.0%, 高2 19.2%) の順位は平成14年度と同じである。

◇「何でも話せる人」と「家庭の楽しさ」〔Ⅰ 家庭生活 (P.15)]・「学校の楽しさ」〔Ⅱ 学校生活 (P.38)]との関係【クロス集計】

①「家庭の楽しさ」(Ⅰ 家庭生活)との関係

「何でも話せる人」は、「だれかいる」群と「だれもない」群の二つに分け、「家庭の楽しさ」は、「楽しい」(楽しい+だいたい楽しい)群と、「楽しくない」(あまり楽しくない+楽しくない)群の二つに分けて分析した。

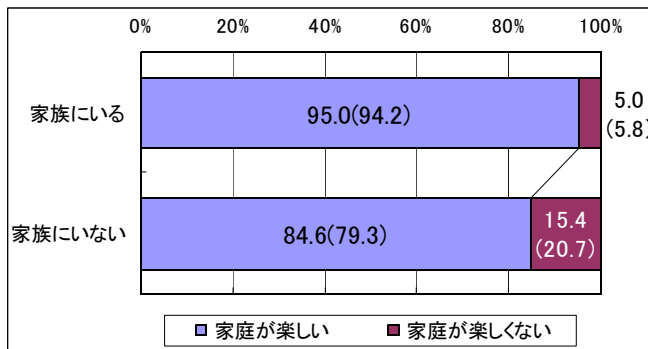


○だれかいる 2139人 だれもない 155人

- 「何でも話せる人がだれかいる」と回答した群は、「だれもない」と回答した群より、「家庭が楽しい」と回答した割合が高い。

②「何でも話せる人」が「家族にいる」場合の「家庭の楽しさ」との関係

「何でも話せる人」は、「だれかいる」を、「家族にいる」(親+兄弟姉妹+祖父母)群と「家族にいない」群の二つに分け、「家庭の楽しさ」は、「楽しい」(楽しい+だいたい楽しい)群と、「楽しくない」(あまり楽しくない+楽しくない)群の二つに分けて分析した。

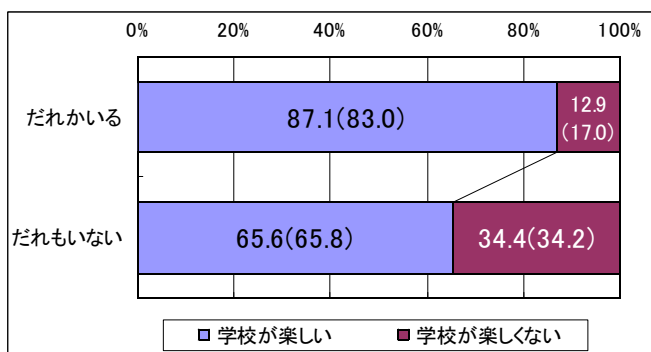


○家族にいる 1365人 家族にいない 774人

- 「何でも話せる人が家族にいる」と回答した群は、「家族にいない」と回答した群より、「家庭が楽しい」と回答した割合が高い。

③「学校の楽しさ」(Ⅱ 学校生活)との関係

「何でも話せる人」は、「だれかいる」群と「だれもない」群に分け、「学校の楽しさ」は、「楽しい」(楽しい+だいたい楽しい)群と、「楽しくない」(あまり楽しくない+楽しくない)群の二つに分けて分析した。

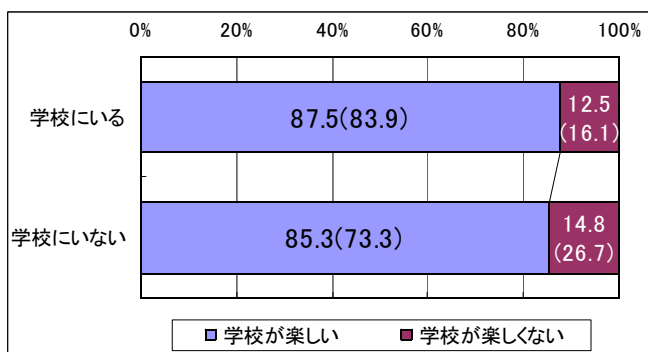


○だれかいる 2135人 だれもない 157人

- 「何でも話せる人がだれかいる」と回答した群は、「だれもない」と回答した群より、「学校が楽しい」と回答した割合が高い。

④「何でも話せる人」が「学校にいる」場合の「学校の楽しさ」との関係

「何でも話せる人」は、「だれかいる」を、「学校にいる」(友だち+担任の先生+担任以外の学校の先生)群と「学校にいない」群の二つに分け、「学校の楽しさ」は、「楽しい」(楽しい+だいたい楽しい)群と、「楽しくない」(あまり楽しくない+楽しくない)群の二つに分けて分析した。



○学校にいる 1735人 学校にいない 400人

- 「何でも話せる人が学校にいる」と回答した群は、「学校にいない」と回答した群より、「学校が楽しい」と回答した割合が高い。